



## 1 地区の概況

- ◆ 1 haあたりの人口と世帯数は、区平均より高くなっている。
- ◆ 年齢構成（3区分別人口比率）は、区平均とほぼ同様だが、わずかに15歳未満が少ない。
- ◆ 家族構成（家族類型別世帯）は、区平均と比して単身世帯が多く夫婦と子世帯が少なくなっている。
- ◆ 区平均と比べて居住年数20年以上の人の割合がやや高くなっている。
- ◆ 区平均と比べて民営借家の比率が高い。特に駅に近い相沢1丁目では民営借家が6割を超えている。また駅から遠い相沢5丁目では持ち家比率が7割を超えており、地域差には交通利便性の影響が考えられる。

## 2 第1期・第2期で取り組んだ主な活動や事業

- ◆ 配食サービス「火曜の会」
- ◆ 相沢ふれあいサロンⅠ及びⅡ
- ◆ ふれあい体操の会
- ◆ ふれあい食事会
- ◆ わいわいおやこ会
- ◆ 見守り活動「こんにちはチーム」の結成
- ◆ 隣近所のさりげない見守りによる地域づくり
- ◆ 健康保健講座の開催
- ◆ 「相沢助け合いの会」の開設



ふれあいサロンⅠ

見守り活動を呼びかける看板

## 3 第3期計画に向けての課題

- ◆ ボランティアの団体等多くの活動事業において、今後の担い手の不足が心配されている。
- ◆ 「隣近所のさりげない見守りによる地域づくり」において「災害時の支え合い運動」は、各町内会、民児協、地区社協が連携を一層深め、進めていく必要がある。
- ◆ 「相沢助け合いの会」は、スタッフの確保と推進体制が課題である。

## 4 推進母体

相沢町内連合会、相沢地区民生委員児童委員協議会、相沢地区社会福祉協議会

## 5 第3期計画

「地域で生活するすべての人が安心して生活できるまちづくり」をさらに進めます。

### 3つの柱

#### ① みんなで見守り支え合うまち

隣近所の顔の見える関係づくりを進め、さりげない見守りにより支え合い災害時にも助け合うまちづくりをめざします。



#### ② すべての人が健康で長生きできるまち

いつまでも健やかに助け合って地域で暮らせるようなまちづくりをめざします。



#### ③ みんなで助け合うまち

地域の様々な人が気軽に参加でき、つながれる場のあるまちづくりをめざします。



### 取組内容

- ◆ 隣近所のさりげない見守りによる地域づくり  
第2期から始まった声かけ・見守りの運動とともに、大災害時にも助け合える体制を検討する。
- ◆ 見守り活動「こんにちはチーム」（14団体）  
第2期から始まった見守り活動を進める。
- ◆ 「ふれあいサロンⅠ及びⅡ」  
子どもから高齢者まで、ふれあいのサロンを継続する。
- ◆ 「わいわいおやこ会」  
子育てママ・パパの支援を継続する。
- ◆ 「相沢ふれあい食事会」  
一人暮らしの高齢者のためのふれあいと食事の会を継続する。
- ◆ 配食サービス「火曜の会」  
一人暮らしの高齢者の見守りも兼ねてお弁当の配食を継続する。
- ◆ 健康保健講座の開催  
第2期から始まった講座に地産地消や食品の安全性の講座も取り入れる。
- ◆ 「ふれあい体操の会」  
転倒防止などの健康体操を継続する。
- ◆ 「相沢助け合いの会」  
第2期に発足した会の普及に努めるとともに、スタッフを増やす。
- ◆ 相沢地区のボランティア通信の発行  
ボランティア団体の担い手を発掘するための通信を発行する。
- ◆ 障害のある方たちとの交流の場をつくる  
相互理解と助け合いを目指す場をつくる。